



十文字西 公民館だより

■令和3年度—3号
令和3年7月1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

☆ 押し花教室主宰の佐藤政子さんから公民館に寄贈いただきました。誠にありがとうございます。



十文字西地区交流センター長（兼）公民館長
近 孝夫

陽射しが強くなり、暑さも本格的になる7月になりました。地域の皆様、如何お過ごしでしょうか。

菅首相は6月の「G7サミット」で、東京五輪・パラリンピック開催に向けた決意を表明しました。新型コロナウイルスに直面する今こそ「人類の努力と英知で難局を乗り越えることを、日本から発信したい」と強調しました。サミットに参加した首脳の一部が「全員の賛意を代表して、東京大会の成功を確信している」と歓迎した記事が掲載されていました。日本国民の中に「新型コロナ禍での五輪開催」に対し、リスクを指摘する声も多々あります。ワクチンの普及率やコロナの感染率を踏まえ、我々国民の命を第一とし「安心・安全」を確保できる施策を実施してもらいたいものです。

次に横手市では、「地域とともにある学校づくり」を目指し、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会制度）を令和4年度より市内全小中学校で実施することになり、それに向けて令和3年度は増田地区「小学校1校・中学校1校」、十文字地区「小学校1校（統合した4小学校）・中学校1校」をモデル校に選定し、先行実施することになりました。

「横手市版コミュニティ・スクール」とは、地区交流センターなど地域で主体的に活動している組織や団体、企業、個人と学校が連携・協働し、地域ぐるみで子供たちを育み「持続可能な地域づくり」を目指すものであり、教育目標は「他と関わり合い、自己を成長させ、希望をもってたくましく、未来を切り拓く児童の育成」であります。

今正に、コロナ禍の大変な状況ではありますが、それ故にこそ、地域の皆様からの御協力をお願いします。



～ 豆知識 ～ 「ヒトとウィルス」共生と闘い

国立病院機構三重病院 臨床研究部長 谷口 青洲

人類最初の麻疹（はしか）の伝播は、BC3000年チグリス・ユーフラテス川領域のシュメールで麻疹が流行し、その後、世界に広がったと伝えられています。

また、日本には平安時代（AD1000年位）に到達し、シュメールで流行してから日本に到着するまでに4000年位かかっています。旧約聖書にある「感染症」の記述によると、予言者マホメットは「汝ら、もしある国に疫病が存在しているとしたら、そこに行ってはならぬ。」だが、もし「疫病が汝らの今いる国に発生したならば、そこを離れてはならぬ。」疫病で斃（たおれる）者は「殉教者」であると述べています。

「当時は感染症という言葉はないが、こういう症状を呈したら隔離。他人に感染させてはいけない」ということが、旧約聖書の時代から行われていました。

令和3年度の交流センター運営協議会関係者

～ 運営協議会...事業を運営していくため地域住民で構成された自主運営組織～

にしの杜保育園、十文字小学校、十文字中学校、介護施設花むつみ、横手市社会福祉協議会、JA女性部、十文字地方史研究会、体育協会十文字支部、地域有識者等と連携し行政の協力を得て運営。

	役職名	氏名	備考
横手市 委嘱・任用	公民館長(兼)センター長	近 孝夫	全国公連 理事 東北公連 理事 秋田県公連 会長 横手市公民館連絡協議会 会長
	事務局	吉村美貴子	十文字地域課 事務補助員 公民館・センター事業担当
	コーディネーター	松田利枝子	小学校支援ボランティアのコーディネーターをするほか、保育園、小・中学校と事業に関して連絡調整をする。
地域の有識者	顧問	藤島 昭吾	※交流センター事業運営の評価や指導助言
	運営アドバイザー	米澤 弘毅	
		梅津 克義	
		佐藤 公晴	
		土谷 勝悦	
		菅原 恵悦	
		齋藤 光司	
		高階 房夫	
	相談員	近 洋	事業全般
		加藤 俊和	
		松田 幹晴	
		藤島 恵子	生涯学習関係
		最上 綾子	
		藤谷 健一	民生児童関係
		佐藤 博美	
柴田健一郎	福祉関係		
佐藤 慶子			
■運営協議会役員（9名） 会長1名、副会長4名、監事2名、事務員1名 コーディネーター1名			

	氏名	役職名	担当班
十文字西地区交流センター 運営協議会委員	鈴木 淳悦	運営協議会 会長	全体統率
	小川 良平	副会長	文化教養班長
	近 義久	副会長	地区会議代表 安心安全班長
	松野利喜男	副会長	
	柴田喜左工門	副会長	健康福祉班長
	土谷 勝二	監事	文化教養副班長
	柴田テル子		
	土田 宏文	事務員	健康福祉班
	近 寿	消防第3分団長	安心安全班
	羽川 衛征	消防第4分団長	
	柴田 吉伸	交通安全協会代表	
	信太 昭悦		
	佐藤いく子	JA女性部代表	
	柿崎 令子		
	地域活性化員	※下図参照	
	大石 元彦	十文字地方史研究会員	文化教養班
	信太 正樹		
	松野利喜男		
	伊藤ヒサ子	講座代表	健康福祉班
	矢野 博子		
	高階 靖	★十文字西スポーツ推進員	
新山 武			
渡部 治之			
高階 智			
高橋 康弘	小学校 PTA植田代表		
藤川 尚樹	小学校 PTA睦合代表		
高橋 哲也	保育園保護者会植田代表		
近 大樹	保育園保護者会睦合代表		
土谷 一平			

自治会長・地域活性化員・連絡員

	集落	自治会長	地域活性化員	連絡員
植田地区	志摩・高口・一ツ屋	奥州 光吉	佐藤 満	佐藤 満
	上羽場	大石 隆一	草薙みえ子	大石 隆一
	下羽場	柴田 安隆	柴田 安隆	小松 昭吉
	植田上	柴田 昭一	泉川 秀悦	高橋 良一
	植田裏	近 忠一	近 勝久	近 信博
	植田中	近 義久	近 義久	近 義久
	植田下	紙屋 多	紙屋 多	紙屋 多
	越 前	釜田 周悦	佐藤 孝弘	佐藤 頌也
	二ツ橋	新山 実	丹 正義	丹 貴史
	佐 戸	小松 正衛	伊藤 総一	小松 正衛
	木 下	安藤 亨	菊地由美子	安藤 拓哉
	源 太	佐々木喜男	齊藤 芳昭	齊藤 芳昭
	沼 尻	高橋 恒	佐々木公子	柴田 裕明
	沢田・石川原	川嶋 貞一	川嶋 貞一	川嶋 俊一

	集落	自治会長	地域活性化員	連絡員
睦合地区	左 馬	片野 孝	片野 誠	伊藤 徹
	宿	土谷 一仁	土屋 祥司	土谷 司
	館 前	土谷 諄一	土谷 信夫	土谷 諄一
	川 前	畑山 雅一	畑山 雅一	本庄 一雄
	中 島	松野利喜男	柿崎 孝作	柿崎善一郎
	福島・砂出	佐藤 久作	佐藤 常幸	菊地 拓也
	本 城 (下堀・本城)	瀧澤 寛宜	瀧澤 孝志	岩村 淳一
				伊藤 学
	真 角	菅原 善市	菅原 徳幸	斎藤 幸進
	別 明	小川 晴資	佐藤 喜一	佐藤 克彦
	中 村	近 潤行	羽川 衛征	近 高生
	荊 島	伊藤 東幸	佐々木昌則	伊藤 聡
	根木場	加藤 仁	加藤 仁	加藤 雅士
	下 村	熊谷 徹	熊谷 徹	小松 淳

●地域活性化員...自治会と公民館のつなぎ役。事業の広報と参加の促進

●連絡員...運動会の繰り出し役

ふれあいサロン(川前・中島)



★令和3年6月6日(日)午前11時40分～ 中島生活センターにて

初回のサロンは、川前・中島自治会におじゃまして皆さんと交流しました。

館長と共に十文字福祉センターの大嶋さんが同行し、脳トレゲームで楽しく心と体をほぐした後は、地域の誇れることについて歓談しました。皆さんの明るい笑顔と笑い声に触れてホッと安心して、元気をもらいました！



ふるさと歴史探訪

★令和3年6月20日(日)午前10時～12時 十文字西公民館にて

今回は、「植田・睦合の水害と厄除け」について、十文字地方史研究会の土肥稔会長の解説で歴史を紐解きました。特に、ケダニ対策について当時の様子を記憶している方が体験談を披露してくださり、参加者は始めて聞く話に驚かされると共に、大変興味深く聞き入っていました。



地域の こうどうびと 行動人

★秋田県の生涯学習が目指す人間像。
学んだことを生かして行動する人。



十文字しあわせを編む仲間

代表 佐藤 弘美さん



今回は、編み物サークル代表の佐藤弘美さん（睦合中村在住）をご紹介します。佐藤さんは、小学生の頃に伯母に教えてもらってから編み物が大好きになり、ベストを編んで小学校に着て行ったこともあるほど。以降は家族の衣類を編んだり、靴下や手袋を編んではフリーマーケット等で販売していたそうです。作品作りを続ける中で、彩り豊かなドイツ製オパール毛糸に出会いますが、日本では入手が困難で佐藤さんにとっては憧れの素材でした。そんな折、震災被災地の気仙沼市に復興支援のために設立された会社でネット販売されることを知り、毛糸を使うことで復興支

援につながればと思い、それ以降購入を続けていました。サークルは、フリーマーケット会場の「ねま〜れ」の方に勧められ2013年に立ち上げてから、ねま〜れ閉館まで8年間、毎週1回開催していました。現在は会場を十文字コミュニティーセンターに移し、25名ほどのメンバーで活動しています。オパール毛糸を使用し、メンバー相互に技術を教え合いながら和気あいあいと編み物を楽しんでいるそうです。佐藤さんは、気仙沼の会社経営者であるドイツ人の梅村マルティナさんとも交流があり、コロナ禍以前には年1回は気仙沼を訪れていたそうです。サークル名もマルティナさんが日本全国に広げている『しあわせを編む仲間』の輪に入る意味で名付けられました。「編み物には癒しの効果があり、無心になって作品を創り上げることで達成感も味わえる」と佐藤さんは話します。参加費は無料で、手ぶらで訪れても道具も揃っており、編み方を教えてくれるので、すぐに編み始められるそうです。

『まっすぐ編むだけで模様が出てくる魔法の毛糸』で、みなさんも「しあわせを編む仲間」になりませんか？

編み物教室

毎週土曜13時～16時

十文字コミュニティーセンター

★興味のある方は

佐藤さんまでご連絡を！

☎080-1834-4746

